

二十一世紀にむけて

病院ボランティア活動に期待

平成十年九月から始まった「病院ボランティア」も、平成十一年三月には四十四名の新規登録者を迎え総登録者が九十六名となったボランティアさんは、全員緑と



ボランティア学習会 高校生を含む約50名が参加
 ボランティア活動に期待!!

黄色のエプロンをつけて活動されている。病棟では、お話し相手、食事介助、シャワー介助などが患者さんに好評である。特に高校生ボランティアの来訪は、患者さん達に人気が高い。また、有資格者による定期的なカットボランティアも活動している。

業活動をして頂いている。どれも間接的に患者さんの療養生活に関わるものである。その他、季節感のある手作りの物を飾るとい活動もしている。三月には外来待合いホールに木目込みのひな人形を作成し飾った。今後も手作り作品の展示を予定している。

昨年六月に増改築が終わり約一年、外来スペースは広くなり入院ベッド数も一九八床に増床など大きく変化を遂げた。平成九年八月からの半年間と、増改築後の平成十年八月からの半年間で月平均を比べてみると、入院患者さんの数は二、三九二人が三、三二二人に増加し(約1.4倍)、新しい病室も

増改築後の変動

好評を得ている。外来患者さんの数は同じく月平均で九、七二五人が一〇、六八五人の増加(約1.1倍)であるが、腎臓病内科外来が坂田クリニックに移ったことを考えると、それ以上増加していることになる。混雑する外来では、再来受付機をはじめとする新しいシステムで会計までの流れは短縮されたことも見逃せない。また救急車での来院患者さんは月平均で五七人が九一人(約1.6倍)となった。

防災訓練実施



4階給湯室からの出火を想定
 真剣に行われた消火訓練

三月四日、春季消防訓練の一環として、四階給湯室からの出火を想定した訓練が行われた。火災通報装置等の再確認、避難訓練、消火訓練が行われ、参加者一同真剣に取り組んでいた。

B)との綿密な打合せも行われ、学生がスムーズに実習できるよう検討された。

看護婦研修 一年目レポート発表会

三月四、十二、十五、十九日、中会議室にて一年目レポート発表会が開催された。看護婦として一年目を迎える十九名が、患者さんと接してきた中で、一番印象に残った患者さんを事例に取り上げ、レポートにまとめたものを発表し、プリセプターや、部署の責任者等が出席し、暖かい雰囲気の中で看護の共有を深める事が出来た。

栄養士会研究発表会 当院からも参加

一月三十日、千葉県立衛生短期大学において、千葉県栄養士会平成十年年度研究発表会が開催された。当院からは城之内清美栄養科科長より発表があった。

ダイアルイン導入

二月十四日より、ダイアルインが導入された。これにより各部署への直通電話が引かれ、職員業者との取り次ぎがスムーズに行われるようになった。電話対応の仕方については各部署ごとに取り組んでいる。

帝京平成短大生 実習受入れ開始

四月七日から帝京平成短期大学の実習受入れが始まった。前期は七十二名の学生の受入れが決まり、新しく学生室となった旧院長室、旧事務部長室には学校より図書や机、ロッカーなどが運ばれ設置された。

職員の名札一新

三月一日から職員の名札が一新された。これまでは所属部署と名字だけだったが、顔写真にフルネーム、そして玄々堂君津病院のシンボルマークが入った。

医療の中の

三つの隙間

名誉院長 高田眞行



一度でも医療を受けたことのある人なら、誰でも実感していることですが、医療には、いつでも不安がつきものです。そして、この医療についてまわる不安は、患者さんだけではなく実は我々医療者も感じているのです。

これは、医療というものの、三つの隙間が口を開けているから

まず第一の隙間は、医療を受ける患者さんと、これを提供する医療者(医師、ナース、パラメディカル...)との間にあります。

最後の隙間は、退院とともに、入院中の医療の流れが一旦途切れてしまうことによつて生じます。

三月より栄養科では入院患者さんにおいておいしいパンを食べていただくこと「手作りパン」を始めた。

四月七日から帝京平成短期大学の実習受入れが始まった。

三月一日から職員の名札が一新された。これまでは所属部署と名字だけだったが、顔写真にフルネーム、そして玄々堂君津病院のシンボルマークが入った。

永年勤続表彰者

20年

玄々堂君津病院

- 茅野 清嗣 杉村 昭文
- 西川 栄子 坂井 静枝
- 森 栄子

10年

玄々堂君津病院

- 大澤 廉也 作山 敦子
- 山中希久代 圓山 晴美
- 吉成 昭雄 持田 和彦
- 込宮 啓子 及川よし子
- 政所ムツ子 石川 淳子
- 高尾 優子 田中美砂子

玄々堂木更津クリニック

- 音藤 千恵 竹内 智子
- 坂田クリニック
- 古原 絹子
- 木更津訪問看護ステーション
- 磯野かおり

特集 病院で受ける検査

病院では、様々な検査を受ける機会が多いと思います。初めて検査を受ける時は、何もわからない状態で、不安な人も多いのではないのでしょうか。今回は、当院で行っている主な検査をいくつか取り上げ、わかりやすく解説してみました。

胃内視鏡検査

先端に高解像度テレビカメラをもつ電子スコープを使って、早期胃ガンや潰瘍、ポリープの発見(観察)、止血、食道静脈瘤の治療、早期ガンやポリープの内視鏡的切除(治療)などを行います。



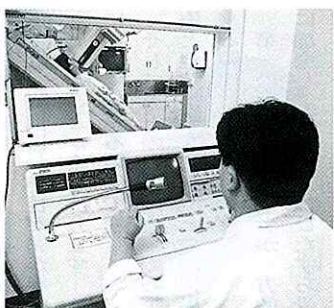
準備として、どの局所麻酔を十分に、また胃や体の緊張をとるための注射をしますので少しポリープとします。着衣を緩めて左向きに横になり、できるだけリラックス。顔は正面、少し突き出すようにします。のどを通すのは検査医の仕事(腕)ですが、つばを飲み込むなどの協力をお願いすることもあります。一センチ径の細長いスコープは口から挿入され、空気で膨らませた食道、胃、十二指腸を観察し、必要場合は組織検査(生検)をします。この場合止血剤の注射が追加されます。検査中は出来るだけつばを飲み込まないのもコツです。検査終了後、二時間は食事をしてはいけません。気管に入ってしまいます。

大腸内視鏡検査

あらかじめ大腸を下剤できれいにしておき、お尻から内視鏡を挿入して大腸の内側を観察します。大腸ガンや大腸ポリープのほか、最近増加している炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎等)や、憩室症といった疾患の診断も可能です。最近では電子スコープを使用しているため、苦痛は最小限です。

胃X線検査

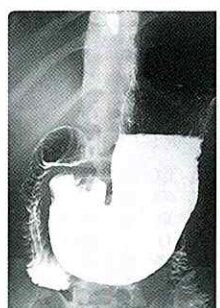
胃X線検査、いわゆるバリウム検査は、バリウムと発泡剤(胃を膨らませる顆粒)を飲んで、X線を写し撮る検査です。検査前



に、胃の運動や胃液の分泌を一時的に抑制する薬を注射します。ただし心臓病や緑内障、前立腺肥大の疑いのある人やこれらの病気にかかっている人は事前に医師と相談する必要があります。

この検査を受けるにあたって、検査前日の夕食は消化しやすいあっさりした食事に抑え、夜九時以降は飲食(ガムや飴、タバコも)はできません。検査当日も勿論絶食となります。検査時間は十分程度で服装は検査専用の着物に着替えます。検査中は発泡剤を飲みますがゲップをがまんしなくてはなりません。

通常は約十五分から二十分で終了します。しかし、大腸の長さ、曲がり具合、癒着の程度は千差万別ですので、腸の長いひと癒着の強いひとの場合は少し長いことがあります。



①検診で便潜血が陽性だった。
②排便時に出血する。便に血液がついている。
③便秘傾向が強い。お腹が張る。便が細い。残便感がある。
④下痢が一週間以上続いている。

大腸X線検査(注腸)

この検査は、造影剤(バリウム)を肛門から大腸に注入して大腸の壁がよく見えるようにしてから写真をとる、病変の有無を診断する検査です。検査前に、胃のバリウム検査をする時と同様に腸の運動を一時的に抑制する薬を注射します。

この検査を受けるにあたり、検査前

CT(コンピュータ断層撮影)

検査前日の夕食は消化しやすいあっさりした食事に抑え、夜九時以降は飲食(ガムや飴、タバコも)はできません。検査当日も勿論絶食となります。検査時間は十分程度で服装は検査専用の着物に着替えます。検査中は発泡剤を飲みますがゲップをがまんしなくてはなりません。

CTは身体を輪切りにした時の画像を作り診断する検査です。そのため細い幅のX線を身体の方から透して、透過してきたX線の強さをコンピュータで計算します。全身どの部位でも精密な断層画像を撮ることができ、さらに通常のX線写真と違い、いろいろな臓器との重なりが問題になることはありません。検査時間が短いため外傷等の緊急時にもすばやく検査できるという特徴があります。



動して撮影を行います。しかし、撮影中に身体が動くと画像が乱れるのでじっとしていなければなりません。特に胸やお腹の撮影では撮影ごとに呼吸を止めることが必要のため、繰り返し呼吸停止をアナウンスし撮影を行います。

Eコー(超音波)

超音波とは人間の耳に聞こえない高い周波数の音波です。その音波が物体に当たって反射し戻ってくる性質を利用して、人体中の異物の探知に応用されています。超音波を送受信する装置を探触子(プローブ)といいます。この探触子を生体に密着させて、生体軟部組織をリアルタイムに映像化させながら検査を行います。

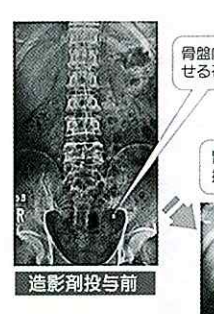
超音波の特徴は、人体にとって無害、無痛、短時間で検査ができることです。

DIP(点滴注入腎盂造影)

腎臓の機能と形態を調べるためのX線撮影の検査です。撮影する範囲は腎臓から膀胱です。検査のための準備としては、検査前の絶食絶水が必要です。(午前中の検査なら朝食を、午後の検査なら昼食を抜きます。また、便やガス等は検査の妨げになりますので、

前処置として、下剤を飲みます。時に流腸を必要とする場合もあります。また検査直前には排尿しなければなりません。

撮影は撮影用ベッドに寝て行います。方法は腕の静脈から造影剤を五十分間で点滴した後、五分後、十五分後、三十分後と時間を追って腹部の写真を撮影していきます。そうする事によって造影剤



造影剤投与前
造影剤投与10分後
造影剤投与20分後

ることです。また適応範囲が広く、ある特定の診療科にかたよることなく広い領域で利用されています。

エコー(超音波)

超音波とは人間の耳に聞こえない高い周波数の音波です。その音波が物体に当たって反射し戻ってくる性質を利用して、人体中の異物の探知に応用されています。超音波を送受信する装置を探触子(プローブ)といいます。この探触子を生体に密着させて、生体軟部組織をリアルタイムに映像化させながら検査を行います。



DIP(点滴注入腎盂造影)

腎臓の機能と形態を調べるためのX線撮影の検査です。撮影する範囲は腎臓から膀胱です。検査のための準備としては、検査前の絶食絶水が必要です。(午前中の検査なら朝食を、午後の検査なら昼食を抜きます。また、便やガス等は検査の妨げになりますので、

前処置として、下剤を飲みます。時に流腸を必要とする場合もあります。また検査直前には排尿しなければなりません。

撮影は撮影用ベッドに寝て行います。方法は腕の静脈から造影剤を五十分間で点滴した後、五分後、十五分後、三十分後と時間を追って腹部の写真を撮影していきます。そうする事によって造影剤



造影剤投与前
造影剤投与10分後
造影剤投与20分後

第四回・第五回 マナー教室

ホスピタルマナー委員会 事務局



第5回マナー教室

岩下先生のマナー教室は当院のホスピタルマナー委員会事務局で平成十年度の企画として、予定実施したものです。六月「ワインのマナー」、九月「冠婚葬祭のマナー」、十一月「立食パーティーのマナー」、一月「和食のマナー」、そして最終となりました今回の「立居振舞いと話し方」でした。

マナーコーディネーターの岩下宣子先生を講師にお招きし、一月十四日には第四回マナー教室が、三月十一日には第五回マナー教室が開催されました。

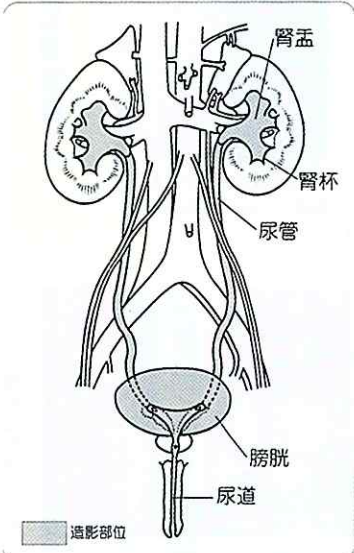
また第五回マナー教室の内容は挨拶時のおじぎの仕方、名刺交換の実際(全員で)、話す時の目線、案内する際の歩き方、ドアの開閉、背や足先の向け方等についてを、わかりやすく、おもしろく、テンポの良い話術で進められました。



第5回マナー教室

検査では、尿路結石、水腎症などがわかり、また尿路の腫瘍や炎症などを見つける一助となります。

造影剤で描出される部位



造影部位

シリーズ”病気を考える“ 気管支喘息

(24)

気管支喘息は、治療効果が充分にあらわれないと突然死に至る事もあり、注意を要する疾患です。今回は、日本呼吸器学会の評議員、並びに認定医である、国立療養所東京病院の院長毛利昌史先生に、症状、診断から治療までを詳しく解説して頂きました。



国立療養所東京病院
院長 毛利昌史先生

I 気管支喘息の現状

日本の喘息死は毎日十六〜十七人(年間六、〇〇〇〜七、〇〇〇人)

気管支喘息は日常の診療でよく診る疾患で、小児喘息の既往があったり、子供や親が喘息、本人が現在も喘息持ち、などの人はこの病院にも沢山いる筈です。地域や調査方法によっても異なりますが日本の喘息患者数は大体二〇〇〜三〇〇万人(全人口の約一三%)で、年間喘息死は六、〇〇〇〜七、〇〇〇人と推定されています。

II 喘息の症状

「頑固な咳」
↓喘息の重要な鑑別診断のひとつ！

喘息の症状は①頑固な咳②喘鳴(wheezing)及び③呼吸困難です。喘息といえはゼイゼイという喘鳴が必発かと思ふ人は多いと思いますが、実際にはしつこい咳のみで、ほとんどゼイゼイがない喘息発作もあります。

①頑固な咳発作

喘息の咳はなかなか止まらない咳発作

で、痰は出て少量の「から咳」のことが多いです。ただし、重症発作の改善期には気道内に生じた粘液栓(とどろてん様)の喀痰、ときに気管支の鋸型のよう形状が喀出されることがあります。咳発作は、たき火や線香の煙、冷蔵庫を開けた時の冷気の吸入など、日常の些細なことがきっかけで誘発されることが多く、また、誘因がはっきりしないこともしばしばあります。

咳が続いている間は、息を吸う余裕はほとんどありませんから、咳発作がひどいと、窒息に近い状態となり、息苦しきは一層ひどくなります。また、このような発作は夜間に多いため、患者さんは睡眠不足となります。

②喘鳴・喘息の喘鳴は頸部で聴取
ほとんどの喘鳴は頸部でもよく聞かれます。聴診器を使わなくても患者さんに少し大きく息をもらって、そのそばで聞いただけでも喘鳴の有無はわかることがしばしばあります。機会があったら試してみてください。喘鳴は喘息以外に肺腫や異物誤嚥などによる主気管支狭窄によっても生じ、このような気道狭窄音も、患者さんのそばで聞かれます。異物による喘鳴は、喘息の喘鳴と異なり、体位によって聞こえたり聞かなくなったりします。

III 喘息の診察のポイント

重症度判定

喘息の診察で大切なことは、初診時の重症度判定で、以下の三点は、患者さんも知っていてよいことと思います。

(1)重症喘息発作(「重症発作」)の既往の有無
喘息死の患者さんの多くは、以前にも

(4)理学所見による重症度判定
①脈拍120〜130/分以上
②呼吸数25/分以上
③起座呼吸(横になつていられず起き上がって息をすること)
④チアノーゼ(爪床、口唇が青紫色になること)
⑤意識混濁

重症発作(重症発作)の既往があります。そのような既往がある場合、今回も重症発作、もしくは重症化する危険は高いと思わねばなりません。

(2)これまでの治療内容
喘息死の一部は、交感神経刺激剤やテオフィリン製剤の過剰投与が原因です。来院直前までの治療内容の正確な把握は、このような過剰投与による医療過誤を未然に防ぐ意味で重要です。

(3)気管支拡張剤吸入効果
喘息重症発作の患者さんの多くは「これまで効いた気管支拡張剤の吸入が、今回はほとんど効かない」しかし「来院までに既に何回も吸入を試みています」と言います。気管支拡張剤吸入が効かなくなったという経過は重要で、治療はこの時点でステロイドに切り替える必要があります。

①脈拍120〜130/分以上
②呼吸数25/分以上
③起座呼吸(横になつていられず起き上がって息をすること)
④チアノーゼ(爪床、口唇が青紫色になること)
⑤意識混濁

1、2は鏡の前で自分で、もしくは家族でもわかる所見です。今度発作があったら自分で確かめて下さい。そんな機会

がないことを祈りますが。
IV 喘息の鑑別診断
臨床的に確実に気管支喘息と思われるも、以下のような別疾患のことがあります。

1(心臓喘息(Cardiac asthma))
心臓喘息と気管支喘息の鑑別は、専門医でも困難なことがあります。

2(異物誤嚥)
幼児は何でも口の中に入れる時期があり、ピーナツなど、異物誤嚥による気道狭窄・閉塞はよくあります。お正月にお餅の誤嚥でお年よりがなくなることもよくあります。

3(肺腫による喘鳴は体位の影響を受けやすい。例えば、左側臥位で喘鳴が生じ、右側臥位で消失する場合(「体位による影響」)左主気管支に生じた肺腫の可能性ががあります。

V 喘息治療のポイント
喘息の治療で大切なことは、重症発作となる前に治療することです。



医師 中川 徹也

この度、訳あって、常勤の職を辞し非常勤として、さし当たり週一日の外来を担当させて頂くことになりました。病棟医としての一年間は、仲間の素晴らしい先生方に支えられ、またナース諸姉をはじめ各職種の方々のお陰で、有意義かつ忘れ難いものとなりました。チーム医療の大切さと素晴らしい

しさを再認識致しました。一方、以前にも申し上げた通り、病室と闘う患者さんの姿には、しばしば感心し、また励まされました。しかし、医療というものが実に大変な仕事であることも改めて感じさせられました。今後ともお世話になります。皆様にはどうぞ変わらさず宜しくお願い申し上げます。

医師 小川不二夫
冬の間、僕よりも寝坊助だった

太陽は、最近、ちよつとだけ早起きになった。玄関を出て君津駅へ向かって歩く。頬をなでる風も随分暖かくなった。駅を通り過ぎる際、改札へ向かう人の中に、知った顔を見つけたりする。挨拶をしてくる人もいるし、そうでない人もいるが彼らは皆、ちよつと前まで、玄々堂のベッドに横になっていた人たちだ。もう少し歩いて、事務局長さんが玄関先を掃除している横を通り過ぎて中にはいる。透析待ちの人達が座って、もう歩けないだの、嫁がどうだのと喋っている。僕等は人々の日常の、ほんの一部を支える脇役なんだと感じた。

「趣味が出来るまで」
臨床工学科 吉田一郎
私はつい最近まで趣味など無かった。休日は「元氣な姿」を見せる口実で実家に帰宅し、飯を食べ、風呂に入り、寝たいだけ寝て、洗車して戻るといった、平々凡々な生活を送っていました。

ある日曜日に、書店で手に取った本の中に、自動二輪の雑誌があり、夢中になって読み始めました。自分の体力など一抹の不安もありましたが、大人の趣味として長く続けられると判断し、免許取得と車両購入を決意しました。

ました。また周囲の視線を受けて、実際に気分が良い反面、存在が怪視され易く、危険と隣り合わせの乗り物なので、走行中は緊張の連続です。苦勞をして得た免許を大切に、己の運転技量を過信することなく、自制心と安全運転を心掛けて、趣味を充実させてゆきたいと思っております。



医師 小川不二夫

「とりとめのない書評」
「五体不満足」を読んで M・T
この本を一読して、先ず心に浮ぶのは「生きる喜び」「力への意志」という言葉だ。

著者乙武君の不満足な五体は、彼にとって、何か重いもの、忍耐強い精神を要求するものかというところ、決してそうではないのだ。そこには重さとか暗さのかけらすらない。彼の「生きる喜び」は「子供のようには無垢であり、新しい始まりであり、遊びである。自らまわる車輪であり、自動運動であり、聖なる肯定である」

又彼をとりまく人達、御両親、先生、友人達に通じり除こうとする。そしてそれは人間の偉大さが育つてくる芽を摘み取ってしまうのだから。「恩恵をほとこす者は、敵以上に、その人の価値や意志を傷つける者なのだ」さて、ここでこの書評の種明かしをしよう。実をいうと、右の文意の中のカッコ付きの文は、すべてこれ二ヒリズムの哲人、ニーチェの著作の中から借りて来たものなのだ。著者乙武君と二ヒリズム、ニーチェの取り合わせは一見して奇異である。しかしよく考えてみると、人間の「ほんとう」は明るい方からみても暗い方からみても結局のところ一つしかないということなのだろう。近ごろめずらしく、人間の「ほんとう」を明るく照らし出してくれた本だと思う。

人間が輝いて見える。



季節の風を求めて さっそうと

職員紹介 3B病棟

(パート) 2Fチーム



管理婦長 二瓶 律子
15年目



主任 中田 いと
13年目



看護婦 吉岡 みつえ
5年目



看護婦 高橋 かおり
4年目



看護婦 工藤 静子
4年目



看護婦 星野 房江
4年目



看護婦 渡辺 美弥子
2年目



看護婦 森 美樹
1年目



看護婦 杉本 紀子
8年目



クラーク 大塚 歩
1年目



看護婦 野村 アコ
1年目



看護助手 縄野 美佐子
1年目



看護助手 西村 紀子
1年目

2Fチーム

昨年の十一月二十六日にオープンした二階病棟は、改築後ということもありきれいな病室で個室が中心となっています。スタッフは、看護婦十人・看護助手二人・クラーク一人の少人数で構成されています。また、人間ドックの病室もあることから疾病予防のための、健康教育にも力をいれていきたいと考えています。スタッフは少人数でも、家庭的な雰囲気の中で、患者さん一人一人を大切にしたい看護を行いたい。と一同がんばっております。どうぞよろしくお願ひします。

新任医師紹介



市場 洋

- (1) 出身地 東京都
- (2) 血液型 A型
- (3) 特技・趣味 スノーボード
ゴルフ(下手)
- (4) 仕事のモットー 毎日、100%完全燃焼



荻原 崇

- (1) 出身地 埼玉県
- (2) 血液型 O型
- (3) 特技・趣味 ドライブ
- (4) ひとこと 二迷惑をおかけしますがよろしくお願ひ致します。

結婚 (内は旧姓)

- 平成十年
 - 四月 有岡 政輝
 - 五月 岡 知佐子(百武)
 - 五月 中谷 美砂(本田)
 - 六月 宮本 弘幸
 - 六月 宮本 利江(東平)
 - 七月 佐藤まゆみ(鈴木)
- 平成十一年
 - 一月 花田 美紀(戸村)
 - 一月 廣谷 知子(林)
 - 三月 葛西由紀子(大野)

おめでとうございます

赤ちゃん誕生

- 平成十年
 - 四月 赤坂 桂子 (白花里ちゃん)
 - 五月 高木しのぶ(愛莉ちゃん)
 - 五月 磯野かおり(美衣ちゃん)
 - 九月 佐生美津子(知也ちゃん)
 - 十一月 四釜 藍(耕助ちゃん)
 - 十二月 鳥飼 紀子(南ちゃん)
- 平成十一年
 - 一月 西牧奈津恵(史織ちゃん)
 - 二月 刈込 秀樹(義樹ちゃん)

編集後記

◆ やっと暖かくなってきて行動範囲が広がりました。 E・T
◆ 暖かくなりました。色々な所の芝の上で玉遊びでもしたいな。 H・M
◆ 今回より委員になりました。スポーツ好きな私です。よろしく! H・O
◆ 春が来ました。今年がガーデンニングにでも凝ってみたいなあ。等と夢のような事を考えています。 H・S

新幹事長あいさつ



放射線科 関根 明

平成十一年度の互助会幹事長を仰せつかりました放射線科の関根です。身にあまる重責ではありますが、歴代幹事長及び諸先輩方のご指導賜りながら全力を傾注する決意しております。さて、今年度も新人歓迎ハイキングからはじまり、各院内行事がございます。時に暴走?しがちな私ですが、副幹事長はじめ各幹事と共にこれら行事に於いて少しでも職員の方々のニーズに対応できればと思っております。どうぞご支援ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

- ◆ 新メンバー
 - 副幹事長&会計 濱田 志信
 - 副幹事長 鈴木真由美
 - 幹事
 - 工藤 由香 木場追美子
 - 永田 光子 高沖 智久
 - 浅倉 恵 遠藤 静子
 - 西島 純子 佐藤 弘美
 - 坂本常二郎

人事往来

- 退任 中川 徹也
小川不二夫
- 新任 市場 洋
荻原 崇

コシユ・ゼンコージ

今回のサブタイトルは、日本産のワインでコシユ・ゼンコージです。このワインは八十年収穫の普光寺ぶどうを醸造し、無酸素下で長期熟成させたやや甘口の白ワインです。華やかで上品な熟成香と、とろけるような口当たりが素晴らしい銘酒です。



今年度のヒューマン編集委員です。どうぞよろしく!